

ヴェーダ

V E D A

(ヴェーダとは
サンスクリット語で
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

基本理念

共に歩む



基本方針

- 患者さんの人権と権利、そして思いを尊重します
- 安全で安心な急性期医療、がん医療、予防医療を推進します
- 救急医療の充実に努めます
- 地域の医療・介護・保健機関とつながる医療を行います
- 職員の働きがいのある職場を目指します

小児の発達支援について

当院小児科では主に南加賀地区の市町村から発達に関する様々なことでお困りの子どもさんが来院されます。言葉の遅れやかかわりの難しさ、落ち着きのなさ、これらが知的障害や発達障害と呼ばれるもの（今はひっくるめて神経発達症と呼びます）なのか心配という子どもさん達です。しかし診断がついてもそこで話が終わるわけではありません。むしろ始まりです。本人や周りの大人が困っているのであれば支援が必要であり、様々な役割を持つ場所で様々な大人が関わりを持つ必要があります。病院だけでなく保育園や学校、発達支援センターや市役所や教育センターなど子どもに関わる全ての機関が連携しあい知恵を出し合うのです。それが発達支援です。昔よりもそれらの連携がうまく機能してきていると私は考えています。とはいっても発達支援は十人十色、その子によってニーズが変わるのでその子が私たちに教えてくれることも多く、まだまだ勉強していかななくてはなりません。子どもが困り親が悩むだけではなく、周囲の大人たちも巻き込んで一緒に悩み解決していきたいと考えています。

小松市民病院 小児科
大月 幸



小児科病棟 産科病棟 をご紹介します！

より暖かい
雰囲気になりました

小児病棟の紹介

小児科の病棟では、小児科医4名と看護師27名が連携し、乳幼児から思春期の子どもたちまで幅広い年齢層に対応できるよう包括的な医療ケアを提供しています。子どもたちが少しでも安心して治療が受けられるよう療養環境の改善に取り組むとともに、付き添われるご家族の負担が少しでも軽減されるよう食事の提供や付き添い者専用のシャワー室の整備を行いました。すべての子どもたちとご家族に寄り添い、早期回復・退院を目指せるよう全力を尽くします。



親しみやすいキャラクターを壁紙にあしらった病室です

産科病棟の紹介

産科病棟では、3名の女性産婦人科医師と助産師6名、看護師21名が妊産婦さんの生活援助や出産のサポート、新生児のケアを行っています。また4名の小児科医による24時間の緊急対応が可能です。

病室や廊下は女性らしい淡いピンク色とクリーム色を基調としており、患者さまが温かい気持ちでゆったりと過ごしていただけるように整えています。出産の際は、お腹の大きな妊婦さんにもゆっくり休んでいただけるよう陣痛室にはキングサイズのベッドを導入し、快適にリラックスして出産に臨める空間になっています。



個室は4室あります



大部屋は4人部屋です



陣痛室ではご家族のつきそいのもと
リラックスして出産に臨めます

当院では里帰り出産や立ち会い出産も再開しています。一人ひとりの出産を大切に寄り添い、サポートいたします。まずは産婦人科外来にご相談ください。
(電話でのお問い合わせが可能です)



産婦人科の女性医師

女性の患者さまに寄り添って日々の診療をしています

◀ 向かって左から中島医師、岡医師、松岡医師

当院は小松市の産後ケア事業の指定病院です。
ご利用希望の方、興味のある方は小松市のホームページをご確認いただくか、すこやかセンターにお問い合わせください。

※産後ケア事業とは、出産後1年以内のお母さんと赤ちゃんを対象にした助産師等の専門職が心身のケアや育児サポート等の支援を行うものです。

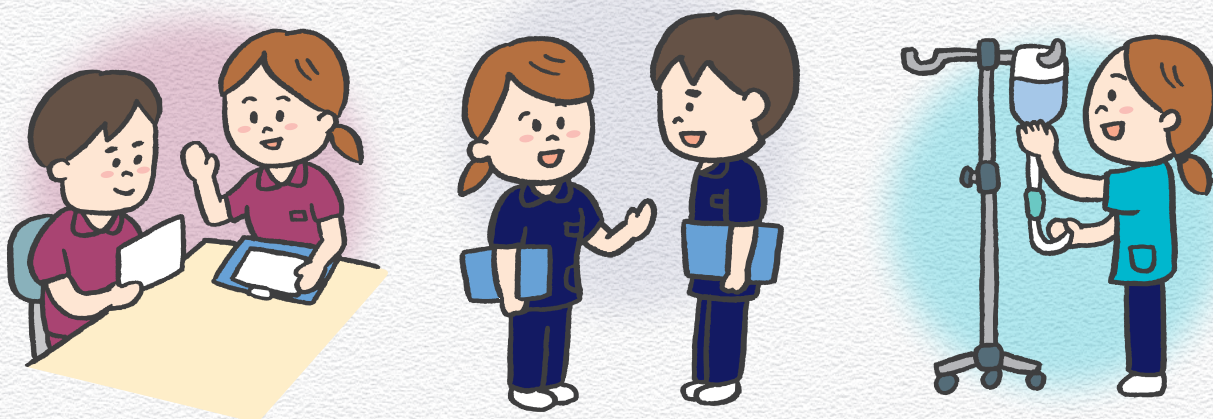


ユニフォーム リニューアル

2024年6月より看護部と医療技術部職員の
ユニフォームが新しくなりました！

看護部では、『みんなで取り組むユニフォーム改革』としてプロジェクトチームを結成し「こんな欲しかったんを叶えます」をビジョンに職員の意見をきめ細かく聞きながら、通気性、軽さと動きやすさを重視し、1年間かけて決定しました。

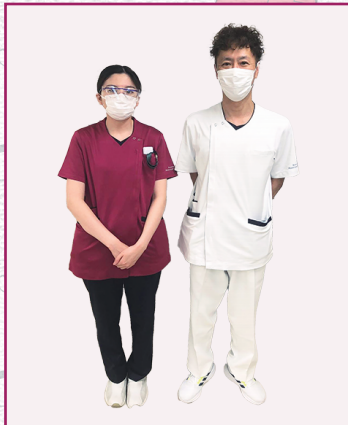
看護師は日中**ワインレッド**、夜間は**ダークブルー**、看護補助者は終日**ターコイズ**でズボンは皆**ダークブルー**です。また医療技術部は上下ともに**ダークブルー**になりました。





BEFORE

AFTER



看護師



日勤スタイル



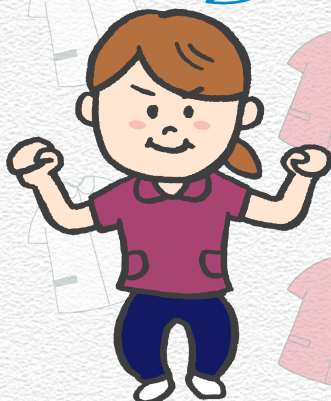
夜勤スタイル



医療技術部



背中には「Komatsu」の
刺繍が入り、気持ちも
引き締まります。



看護補助者



面会制限の緩和について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入院患者さんに対する面会を完全予約制としていましたが、令和6年4月1日より面会制限を緩和することとなりました。

- 面会時間** 平日の14:00～17:00(ご予約は不要です)
- 面会人数** 1日2名程度、小学生以下の面会にご遠慮ください。(マスク着用)
- 受付方法** 「面会届」をご記入の上、総合受付(1階④番窓口)へご提出ください。
「面会許可証」を発行します。
- 面 会** 病棟のスタッフセンターで「面会届」をご提示ください。
面会時間は15分程度です。
面会終了後は、「面会許可証」を受付へご返却ください。



※休日及び面会時間外の面会は、予約制となっています。事前に病棟へお問い合わせください。
※感染症の流行状況により、緊急に方針を変更させていただく場合がございますので、ご了承ください。
今後も感染状況を考慮し、面会制限を更に緩和する予定です。

発熱対応の変更について



2020年に新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから早4年が経ち、昨年(2023年)には5類感染症へ移行となりました。感染症は、感染力や重篤性、発生頻度からみた危険性に応じて、1から5類感染症等に分類されています。感染症の種類は多く、コロナなど耳にしたことがある感染症は、ほんの一部にすぎません。

当院では感染症を持ち込まないために、当院を利用される方や職員に不織布マスクの着用と手指衛生をお願いしております。「マスクの着用は個人の判断」とされておりますが、医療機関内では高齢者や重症化リスクが高い方への感染を防ぐために、引き続きご協力をお願いします。

また当院ホームページでは感染リンクナースが作成した解説付き手指衛生写真を掲載しておりますので、皆様のお役に立てると幸いです(右記QRコードからPDFをダウンロードするとご覧いただけます)。



熱、風邪症状(咳、倦怠感、喉の痛み)、味覚や嗅覚障害のある方は、一度お電話でお問合せ下さい。
これからも地域の皆様と共に感染対策に取り組んでまいります。

医療安全部 感染制御室 神澤幸恵

編・集・後・記

この暑さはいつまでも続くのではないかと不安になるほど厳しい夏でしたが、ちゃんと涼しい風になり短い秋の季節を経てキチンと冬がやって来そうです。

季節の変わり目、風邪をひかないよう体調管理したいものです。(八日市)



国民健康保険 小松市民病院



〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60番地
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp